

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	広報なると・テレビ広報充実事業		担当部署	企画総務部 秘書広報課	
総合計画体系			根拠法令 計画など		
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり	事業期間	開始	昭和 ▼ 26 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なると			終期
(小項目)		情報の共有化			
施策	4	情報の共有化の推進			
基本事業	1	広報活動の充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 全市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	紙面や動画を活用し、行政情報等をわかりやすく紹介するとともに、より多くの市民が見てくれるような広報紙及びテレビ広報を制作し、市政への関心や参画につなげる。						
事業計画	27年度に何を計画していたか	平成26年度の取り組みの効果を検証しながら、広報活動の拡充を進めていく。併せて、「広報なると」については、一部の号について白黒だったものを、全ての号で一部カラーとし、より見やすい紙面作りを進める。また、テレビ広報等についても、知りたい情報をよりわかりやすく発信できるよう努める。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位
		広報モニターの肯定的評価	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	引き続き、広報戦略プランやパブリシティマニュアルの推進に向けた周知徹底を図った。広報なるとでは、引き続き市政の特集記事などを掲載するとともに、継続して市民の活躍を紹介するために、鳴門にゆかりがあり、市内外で活躍されている人物を紹介する「鳴門ゆかりの輝く鳴門人」をスタートさせた。また、テレビ広報では再放送枠を設け、過去に収録放映した映像を現年度の映像の後に放送し、より多くの行政情報を市民に提供することができた。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 広報紙による市政の特集回数	8	9	8	8	8	回
	2 テレビ広報で市長の施策紹介回数	2	3	3	3	3	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	広報モニターの肯定的評価	81.43	80.1	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)		114.4	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	当初予算額	0	0	0	717	10,701	11,418
		全体予算額	0	0	0	717	10,701	11,418
		決算額	0	0	0	770	10,603	11,373
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)		総人件費		総事業費
2.0	0.0		13,718		25,091			

【事務事業名：広報なると・テレビ広報充実事業】
(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	11,552	11,373	11,987	11,987	11,987
	うち一般財源	10,823	10,603	11,270	11,270	11,270
	人件費	13,034	13,718	13,718	13,718	13,718
	総事業費	24,586	25,091	25,705	25,705	25,705

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった	市民と市政をつなぎ、生活に関わる不可欠な情報を提供する事業であるため、より有益でわかりやすい情報提供を心掛ける。今後もブラッシュアップし、評価向上に努める。
	効率性	B:概ね効率的だった	さらなる効率化を進めるためには、職員の知識・スキルの向上が必要となるため、実務を通じて職員の資質向上を図る。
②成果に対する評価	指標名	広報モニターの肯定的評価	
	目標	70.00	%
	実績	80.10	%
	評価	A:目標を達成できた	
③総合的な評価		B	目標は達成し、定めた指数は、前年とほぼ横ばいとなった。しかし、内容をより充実させ、一層の効率化を図れる可能性があるため、B評価とする

◎今後の方向性(ACTION)

課題	テレビ広報においては、平成25年から15日間隔で放送をしているが、間隔を短くするなどして、情報発信の拡大を検討する。また、放送する際のテロップ・デザインの改善など、より親しみを持っていただける番組づくりを心掛けていく。広報なるとに関しては、各課からの掲載依頼が増加傾向にあり、現状の頁数では、対応が難しくなっている。 テレビ・広報誌ともに、増ページ・放送時間の拡大はさらなる経費がかかることや、現状の人員の業務量の関係から十分な検討が必要である。 内容については広報モニター等市民の意見も聞きながら改善に努めたい。				
	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	自治基本条例の施行以降、市民との情報共有の重要性がさらに高まっており、今後もより効率的で見やすく、伝わりやすい広報活動に努める。広報誌は平成27年度同様、カラーページの拡充を継続する。また、テレビ広報に関しては、4月より、番組オープニング・エンディングのデザインを一新した。			
	平成29年度	前年度の取り組みを継続的に実施するとともに、広報誌やテレビ広報等でのわかりやすい情報発信に努め、広報・広聴活動のさらなる充実を図る。			